



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 共同印刷株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7914 URL http://www.kyodoprinting.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤森 康彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡邊 秀典 TEL 03-3817-2101
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	45,128	△0.5	400	12.8	821	9.9	347	—
25年3月期第2四半期	45,374	△2.6	354	△44.7	747	△30.6	△51	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,085百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.96	—
25年3月期第2四半期	△0.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	94,737	50,577	53.4
25年3月期	96,738	49,840	51.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 50,575百万円 25年3月期 49,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	1.9	2,000	10.3	2,600	6.4	1,400	△2.6	15.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	90,200,000株	25年3月期	90,200,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,409,692株	25年3月期	2,408,352株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	87,790,964株	25年3月期2Q	90,094,098株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により緩やかに回復しつつありますが、一方で、円安による物価上昇やアジア諸国における景気の下振れなどが懸念材料となり、先行きの不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましては、電子メディアの拡大による需要低迷と、それに伴う受注価格下落の影響などにより、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況の中、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、市場の拡大が続くBPO等の業務支援サービスと、独自技術を生かした高機能製品の拡販に努め、事業領域の拡大を推進しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は451億2千8百万円（前年同期比0.5%減）となりましたが、営業利益は4億円（前年同期比12.8%増）、経常利益は8億2千1百万円（前年同期比9.9%増）、四半期純利益は3億4千7百万円（前年同期は四半期純損失5千1百万円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

出版商印部門

出版印刷では、市場が縮小する中、付録や形態加工への企画提案を行い付加価値の向上に努めたほか、マンガをはじめとするコンテンツのデジタル化対応業務に取り組みました。その結果、定期刊行物やコミックスが増加しましたが、単行本や絵本などの書籍が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、ITを活用したサービスメニューの充実に努め、得意先の販促支援や業務支援につながる提案を積極的に進めました。カタログや販促DMなどは増加しましたが、情報誌やパンフレット類が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は212億9千8百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は1億6千6百万円（前年同期は営業損失1億8千8百万円）となりました。

ビジネスメディア部門

ビジネスメディア部門では、データプリントの受注拡大を目指してカラープリンタを活用した提案を行うとともに、官公庁や金融機関を中心にBPOの提案活動を推進し受注拡大に努めました。

その結果、データプリントやBPOを含むビジネスフォームが増加し、抽選券などの証券類やICカードも増加したため、部門全体での売上高は135億4千2百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2億5千4百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

生活・産業資材部門

生活・産業資材部門では、医薬分野や電子部品分野において「モイストキャッチ」をはじめとする高機能製品類を提案するとともに、国内外の展示会等を通じて新規顧客の開拓に取り組みました。また、ラミネートチューブの新形態であるオーバルラミネートチューブなどの当社開発製品の拡販に努めました。

その結果、軟包装や建材製品が減少しましたが、高機能製品を中心に産業資材が増加し、チューブや紙器も増加したため、部門全体での売上高は95億6千2百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は1億2百万円（前年同期比73.3%減）となりました。

その他

物流業務の増加により、売上高は7億2千6百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は9千1百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりになりました。

総資産は、947億3千7百万円（前連結会計年度末967億3千8百万円）となり、20億1百万円減少しました。これは、投資その他の資産の投資有価証券が11億7千1百万円増加した一方、流動資産の受取手形及び売掛金が30億4千7百万円減少したこと等によるものです。負債は、441億5千9百万円（前連結会計年度末468億9千8百万円）となり、27億3千8百万円減少しました。これは、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が3億1千1百万円、固定負債の長期借入金が12億4千5百万円減少したこと等によるものです。純資産は、505億7千7百万円（前連結会計年度末498億4千万円）となり、7億3千7百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が7億2千9百万円増加したこと等によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少し、129億7千6百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、44億7千万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益7億3千4百万円、減価償却費21億3千7百万円の計上及び売上債権の減少31億5百万円があった一方、たな卸資産の増加8億5千4百万円があったこと等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、25億4百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出24億7千1百万円があったこと等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、20億7千4百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出16億6百万円及び配当金の支払額3億5千1百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,403	13,330
受取手形及び売掛金	27,437	24,390
商品及び製品	2,234	2,416
仕掛品	2,182	2,785
原材料及び貯蔵品	697	764
繰延税金資産	1,198	1,223
その他	395	476
貸倒引当金	△65	△65
流動資産合計	47,482	45,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,767	12,299
機械装置及び運搬具（純額）	8,550	8,038
工具、器具及び備品（純額）	497	491
土地	15,476	15,476
リース資産（純額）	709	745
建設仮勘定	139	239
有形固定資産合計	38,141	37,291
無形固定資産		
ソフトウェア	866	975
その他	114	114
無形固定資産合計	980	1,090
投資その他の資産		
投資有価証券	8,889	10,061
長期貸付金	14	9
繰延税金資産	484	140
その他	859	994
貸倒引当金	△114	△172
投資その他の資産合計	10,133	11,032
固定資産合計	49,256	49,414
資産合計	96,738	94,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,460	18,371
1年内償還予定の社債	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	3,179	2,868
リース債務	221	238
未払法人税等	353	377
賞与引当金	1,065	1,032
役員賞与引当金	40	27
その他	5,184	3,874
流動負債合計	28,504	28,789
固定負債		
社債	7,000	5,000
長期借入金	5,160	3,914
リース債務	534	556
繰延税金負債	174	254
退職給付引当金	5,264	5,419
環境対策引当金	70	68
資産除去債務	43	43
その他	145	111
固定負債合計	18,394	15,369
負債合計	46,898	44,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	42,188	42,184
自己株式	△545	△545
株主資本合計	47,896	47,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,942	2,672
為替換算調整勘定	2	11
その他の包括利益累計額合計	1,944	2,683
少数株主持分	—	2
純資産合計	49,840	50,577
負債純資産合計	96,738	94,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	45,374	45,128
売上原価	38,495	38,077
売上総利益	6,879	7,050
販売費及び一般管理費	6,524	6,650
営業利益	354	400
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	118	118
物品売却益	157	154
設備賃貸料	63	63
保険配当金	115	129
その他	113	83
営業外収益合計	571	551
営業外費用		
支払利息	123	113
手形売却損	1	—
設備賃貸費用	6	6
持分法による投資損失	6	17
貸倒引当金繰入額	—	△22
その他	40	15
営業外費用合計	178	129
経常利益	747	821
特別利益		
固定資産売却益	1	13
投資有価証券売却益	—	7
会員権貸倒引当金戻入額	0	—
その他	—	0
特別利益合計	2	20
特別損失		
固定資産処分損	57	85
投資有価証券評価損	466	19
為替換算調整勘定取崩損	121	—
その他	0	2
特別損失合計	645	107
税金等調整前四半期純利益	104	734
法人税等	155	387
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△51	346
少数株主損失(△)	—	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51	347

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△51	346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	729
為替換算調整勘定	134	9
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△12	738
四半期包括利益	△64	1,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	1,085
少数株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	104	734
減価償却費	2,055	2,137
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	211	155
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△109	57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37	△33
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△13
受取利息及び受取配当金	△120	△121
支払利息	123	113
持分法による投資損益 (△は益)	6	17
投資有価証券評価損益 (△は益)	466	19
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△7
有形固定資産除売却損益 (△は益)	55	72
売上債権の増減額 (△は増加)	2,504	3,105
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,148	△854
仕入債務の増減額 (△は減少)	△236	△90
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△188	11
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△31	△169
未払費用の増減額 (△は減少)	△121	△185
その他	451	△108
小計	3,976	4,842
利息及び配当金の受取額	122	121
利息の支払額	△102	△113
法人税等の支払額	△274	△379
法人税等の還付額	52	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,774	4,470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,070	△2,471
有形及び無形固定資産の売却による収入	19	23
投資有価証券の取得による支出	△9	△85
投資有価証券の売却による収入	—	17
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	56
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	6	6
その他	△37	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,091	△2,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△62	—
長期借入金の返済による支出	△1,289	△1,606
配当金の支払額	△360	△351
その他	△99	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,811	△2,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	884	△101
現金及び現金同等物の期首残高	11,851	13,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,735	12,976

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版商印 部門	ビジネスメ ディア部門	生活・産業 資材部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,984	13,281	9,412	44,678	695	45,374	—	45,374
セグメント間の内部 売上高又は振替高	424	301	163	889	3,709	4,599	△4,599	—
計	22,409	13,583	9,576	45,568	4,405	49,974	△4,599	45,374
セグメント利益又は 損失(△)	△188	322	384	518	134	652	△297	354

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、保険取扱事業及び不動産管理事業等であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版商印 部門	ビジネスメ ディア部門	生活・産業 資材部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,298	13,542	9,562	44,402	726	45,128	—	45,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	822	482	166	1,471	3,811	5,283	△5,283	—
計	22,120	14,024	9,728	45,873	4,537	50,411	△5,283	45,128
セグメント利益	166	254	102	523	91	614	△214	400

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、保険取扱事業及び不動産管理事業等であります。

(注) 2. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注) 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。